

# 吸水槽スクリーン更新工事見学会

9月6日（火）、9月7日（水）の二日間、ポンプの吸込管の前面にある吸水槽スクリーンの更新工事について、見学会を実施しました。茨城県の関係事務所や他地区の土地改良区、水資源機構の他事務所などから参加がありました。

最初にスクリーン更新についての概要説明を行い、その後、更新工事の現場を見学していただきました。

概要説明では、

- カワヒバリガイの付着によるスクリーンの目詰まりが原因で、ポンプ運転時にスクリーンの前後で水位差が生じる状況になっていること。
- 従前のスクリーンは、固定式であったことから、カワヒバリガイ除去の清掃作業が可能な範囲が水面付近のみに限られてしまうこと。
- 新たなスクリーンについて検討した結果、カワヒバリガイが付着しにくい材質である銅を採用し、併せて分割式・取り外し式とすることで、引き上げて地上で清掃作業等の維持管理が実施可能となる構造を採用したこと。

を説明しました。

現場見学では

- スクリーン更新工事の実施状況。
  - 既に取り外した従前のスクリーンにおけるカワヒバリガイ付着による目詰まりの状況。
  - 新たなスクリーンの材質、構造、設置状況。
- を見学していただきました。

質疑応答として、

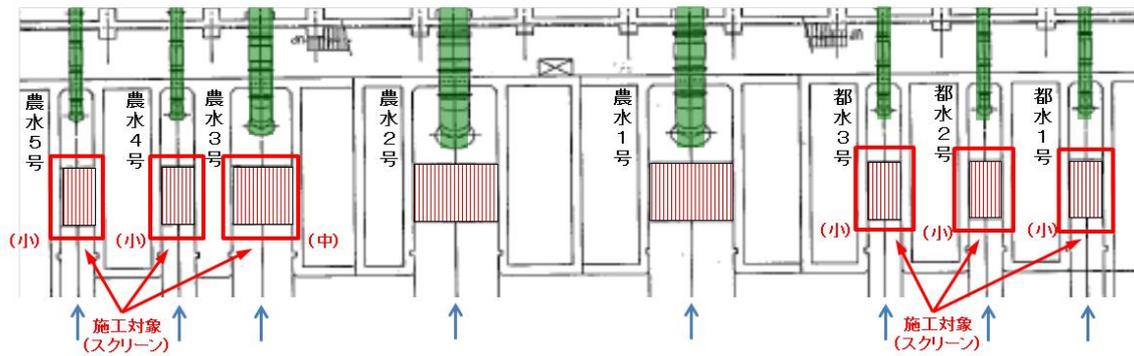
- 問1) 新たなスクリーンは、銅とステンレスの異種金属を使用しているが、電食による影響は生じないか？
- 答1) 銅とステンレスの電位には、あまり差がないことから電食は生じにくい。
- 問2) ステンレス使用箇所にはカワヒバリガイが付着するのか？
- 答2) ステンレスは銅よりカワヒバリガイが付着しやすい材質であるが、引き上げて地上で清掃作業等の維持管理が可能な構造としている。

といった内容がありました。

見学会は、事前に参加依頼があった方以外にも、当日、急遽参加していただいた方もおり、二日間で39名となりました。

今回、新たに設置したスクリーンは、カワヒバリガイの付着が少なく、維持管理に係る労力等が従前に比較して軽減されるものと期待しています。

吸水槽スクリーン部平面図



吸水槽縦断図





概要説明



従来のスクリーン（撤去後）



新たなスクリーン（設置前）